

第 3 学年課題研究 <文型> 第 2 回

教員用 授業の流れ

1. 授業実施場所

各教室

2. 生徒の持ち物

課題研究ノート、参考文献、前回配布した資料、提出した春休み課題

3. 教員の準備するもの

「研究計画書の作成」プリント

4. 授業展開例

	時間	学習内容	教員の指導・留意点
導 入	15:20 ～	～前回の続き～ ○前回の 2 人組になる。 ○キーワードマッピングができているか →まだのグループはキーワードマッピングを完成させる。	○ 2 人組になって、机上に課題研究ノート・各自が選んだ参考文献・筆記用具があることを確認する。 ・キーワードマッピングに時間をかけすぎないように指導する。
展 開	遅くとも 15:40 ～	○『研究テーマを決める』 研究テーマと選んだ理由を記述する。 ○リサーチクエスションの設定を行う。 1)どこの地域が対象か 2)対象者は? 3)どのような状況を想定するか 4)どの学術分野になるか 5)先行研究はなにか 6)課題は何か 7)学術・社会への貢献は何か 以上を踏まえリサーチクエスションを導く。 ○『仮説の設定と検証』を記入する。 ・リサーチクエスションの答えの予想である仮説を複数立てる。 ○早いグループは『研究計画書の作成』を始める。	○机間指導しながら、早いグループは先へ進むよう指導する。 ○1)～7)で、書けないところは書かなくてよいが、なるべく深く探究できるようリサーチクエスションを設定させ、具体化していきたい。 ○「研究計画書の作成」プリントを配布する。(進捗状況がグループによって違うため、全体への説明は適宜行う。)
ま と め	16:08	○次回の予告・・・研究計画書を完成させる。 研究計画を立てながらアンケート調査 (P16,17) インタビュー調査(P18,19) 実験の準備(P20,21)など、どの手法で研究していくのか話し合うことを伝える。	○『仮説の設定と検証』までは、各グループで翌週までにやっておくよう指示をする。